



# きよさと

No.56  
2013.10.19発行  
社会福祉法人 清郷会  
協和厚生園 日吉厚生園  
九十九荘 十倉厚生園  
テイとくら・輝  
青空保育園  
ワークわく・きよさと  
TEL04761931153510

- 新規採用職員**
- 吉田 整弘 (協和厚生園)
  - 清水 真理子 (協和厚生園)
  - 合井 智悠 (十倉厚生園)
  - 高村 成臣 (十倉厚生園)
  - 玉川 めぐみ (十倉厚生園)
- 退職者**
- 高橋 通 (協和厚生園)
  - 安本 まり子 (協和厚生園)
  - 庄司 剛 (十倉厚生園)
  - 関口 智江 (十倉厚生園)

## 職員の動き

●秋本陽子様  
○シエイティエースター株式会社様



### ご寄付・御礼

## ボランティア募集

### 十倉厚生園(工芸班)

【住所】 富里市十倉2443 【TEL】 0476-94-2101  
 【内容】 知的障がいを抱えている方々に対し、日中活動のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。  
 活動内容は、手芸品、工芸品の作成等です。裁縫が得意な方大歓迎です。  
 【時間】 9:30~11:30 / 13:30~15:30  
 担当：吉野

### テイとくら・輝

【住所】 富里市十倉2443 【TEL】 0476-94-2104  
 【内容】 当施設では知的・身体に障がいを抱えている方々に日中活動のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。活動内容は、余暇活動や入浴後の簡単なケア(お茶出しや身だしなみ)等です。  
 週1~2回、また短時間(9:30~15:30の間)でも結構です。なるべく継続して頂ける方をお願いしたいと思っております。随時、見学も受け付けておりますので、ご興味のある方は是非ご連絡ください。  
 担当：平野

## 目次

- 特集『清郷会 法人交換研修』.....2~3
- 協和厚生園
- 『ミスノミクス効果に期待!!』.....4~5
- 九十九荘
- 『納涼祭』.....6~7
- 青空保育園
- 『夏のおおぞら~2013~』.....8~9
- 十倉厚生園・テイとくら・輝
- 『祝15周年』.....10~11
- 日吉厚生園
- 『思いっきり余暇を楽しもう』...12~13
- ワークわく・きよさと
- 『ワークわく初!一泊旅行』.....14~15
- ご寄付・御礼など.....16

題字 久保淳さん (日吉厚生園)

平成24年4月の法改正により、福祉サービスを利用するすべての方(施設入所・通所も含めて)が平成26年度末までにサービス利用計画を作成することになっていきます(介護保険で云えばケアプランと同様です)。今、相談支援の現場ではこのサービス利用計画作成業務に追われていきます。施設利用が長く今更利用計画なんて・・・と思われる方もいらつしやるかと思いますが、その方のこれからの人生設計を改めて考える機会として捉えていければと思いつながら、サービス利用計画作成に携わっている今日この頃です。

以上、現場から相談支援専門員：三橋郷留がお伝えいたしました!!

### 相談支援の現場から

### お願い

ご家庭に不要なソファーがございましたら、十倉厚生園まで寄付をお願い致します。

# 5月12日~14日に法人交換研修を行いました。今回の特集では研修に参加した6名の感想を紹介し、普段とは違う現場でそれぞれどう感じたのでしょうか？

## 十倉厚生園 長谷川 祥子

青空保育園での研修で、私の中での課題は『総合保育』についてでした。実際に5歳児クラスで研修をさせてもらいダウン症児とも関わらせてもらいました。周囲の子供とは能力は違っても、自分で出来ることは取り組めるように環境をしっかりと作り、担任以外の保育者同士の連携もしっかりと行なっていると感じました。また、他の園児たちも子供たち同士で協力して子供たちなりに成長していくんだと感じました。

今回の研修を通じて感じたことは、子供と大人、健常・障がいの違いはあっても、相手の立場に立ち、支援・保育を行なっていくことが非常に大切だと改めて感じました。



## 日吉厚生園 秋山 琴美

私は十倉厚生園にて三日間、交換研修をしました。研修に行く前日まではどきどきと緊張をしていたのですが、十倉の職員の方や利用者さんが優しく話しかけてくださる場面が多く、私の緊張もほぐれました。二日目の研修では十倉厚生園にて活動、昼食支援、入浴支援、生活支援をしました。活動中の利用者さんは、集中して作業に取り組んでいました。昼食支援では、オーダー式昼食という形式の昼食でした。

1ヶ月に二回、五種類のメニューの中から好きなものを一品選び注文をする流れのようで、利用者の皆さんメニューを良く見て考えている姿がありました。そのような食事体系は日吉では体験したことがなかったので、とても新鮮でした。

私まで嬉しい気持ちになりました。最終日の三日目は、デイとくら・輝にて研修しました。利用者さんにとって楽しい時間が過ごせるようテレビを観ながら食事をしたり、作品作りでは音楽を流し、職員の方と会話をしながら行っており「作業に集中する」よりも「楽しく作品を作る」が尊重されていると感じました。



## 九十九荘 佐野 洋輔

初日と二日目がデイ十倉・輝、最終日が居住での研修でした。普段は九十九荘で働いている私にとって障害者施設は初めての経験であり、利用者さんの日々の生活の様子や利用者さんに対する職員の介助方法にとっても興味がありました。研修が始まり、私が最初に感じたことは、利用者さんは皆とても元気で、何よりパワフルで年齢的にも若く、中には私よりも身体が大きい方もいて驚きました。入浴、排泄、食事の場面では利用者の多くが自立していて、職員は事故がしっかり見守りをしていました。

また、一人での行いに困難が見られる利用者さんに対しては出来ない所だけ手を差し伸べており少しでもその方に対して「自立していただきたい。出来るという喜びと自信をもっていただきたい。」という思いがあり、高齢者の方々の介助するのと同じなんだなと思いました。



# 清郷会 法人交換研修

## ワークわく・きよさと 大堀 穂菜美

今回の交換研修では協和厚生園にいきました。入所施設での研修で自分が想像していたものとは違って、中でも印象に残っていることは入浴支援です。

実際に経験してみて自分の力で立つことの出来ない方を支えるということの難しさや大変さを実感しました。ある利用者さんと話をした際にお風呂気持ちいい、幸せ」という言葉を聞き、心身ともにリラックス出来る大切な時間であることを感じさせられました。入浴では注意しなければならない点が多くありますが利用者さんに「幸せ」と感じていただける支援を行うことが何よりも大事なことだと感じました。積極的に声掛けを行い多くの利用者さんに関わることができ、1人1人の表情や態度、ちょっとした変化をしっかりと読み取ること、どんな時でもコミュニケーションを取るという事は、一番必要ことだと改めて感じました。



## 協和厚生園 能代 隆

三日間九十九荘へ研修に行きました。利用者の皆さんのお話を伺っていると、皆さんは、お話し好きな方が多く嬉しそうに御家族のことなどをお話してくれました。人間誰でも話を聞いて欲しいものですし、普段の業務の中でも、より多く利用者さんのお話を聞き、コミュニケーションを図ることがとても大切だと改めて感じました。その話の中で、その日の体調や小さな変化なども察知して、より良い対応、支援に結び付けていきたいと思えます。食事介助を実際にしました。食事の前に水分を取って頂くことが大切で飲み込みの悪い方、誤嚥の恐れのある方にはソフト食を提供するなど利用者さん個々のペースでゆっくりと時間をかけて対応をされており、少しでもおいしく食べて頂けるように配慮されていると感じました。

また、日々の業務の中で常に小さなことも記録を残しておくことがとても大切だと学びました。



## デイとくら・輝 小川 美奈子

6月12日から3日間、日吉厚生園で研修をしました。私が普段いるデイは身体障がいの方が主で、車椅子ユーザーが多かったこともあり知的障がいの方が主である日吉厚生園での研修は、あまり身体的な介助面での困難さを感じることはなかったのですが、どう言葉かけをすれば相手も納得しやすく行動に移せるのかというところで少し悩みました。また言葉が通じるからと言ってすぐに動かれるのではなく、相手の気持ちが乗るまでの難しさというのもありましたが場面を切り替える言葉かけと対応をして行くことで、気持ちの切り替えも出来るということの大切さを改めて感じました。研修初日、利用者さんからの元気な挨拶とても嬉しかったです。とても楽しく研修ができました。



園内研修



今年新しく出来た委員会。職員のスキルアップを目指して、担当は研修の内容を考えるのに、日々頭を悩ましています

協和厚生園

# ミズノミクス 効果に期待!

歩行訓練



毎朝、朝礼の後に全員で体力作り、歩行訓練を目的に園舎の周りを歩いています。

暑気払い



外に実習に出ている皆さん、お疲れさまです。今日は居酒屋で、暑さ疲れを吹き飛ばそう!

クラブ活動

月2回あるクラブ活動、今年はお金を掛けずに何処まで楽しめるか挑戦! 色々な体験ができるように、毎回工夫しています。



写生クラブ=景色の良い場所を探して、思い思いに絵を描きます。素晴らしい作品続出!



図書クラブ=図書館に行って、好きな本を探して読書タイム。

フラワーアレンジメントクラブ=皆さんとっても器用です。交換研修に来ていた、ワークわくの大堀さんとパチリッ!

まだまだ施設長として若輩ではありますが、今後とも変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

今年の夏は記録的な猛暑に度重なる豪雨、果ては竜巻の発生と今後の地球に不安を感じてしまうような異常気象でした。ようやく過ぎやすい季節が訪れてほっとしている所ですが、今度の冬は大寒波になるのではないかと不安になってしまっている私だけでしょうか。

## 「上半期を終えて」

施設長 水野 進

# 改革の矢は、放たれた!

今年度、「鉄人」と呼ばれている男水野施設長を迎え、新しい試みに取り組んでいます。利用者さんの意思を尊重し、安心と幸せのバスを送り続けられるよう力を合わせて頑張ります。

地域の方々との交流



青空保育園の園児との交流会

積極的に地域の方々と交流をしています。そして、皆さんとても楽しみにしています。



皆で集めた「ブルタブ」を、市役所に届けています。

誕生者外出



その月の誕生者の方々に、1日ゆっくり外出を楽しんでいます! 美味しい物を食べたい、映画を観たい、そしてプレゼントももらえる、嬉しい楽しい1日です。



趣向・昼食外出

行きたい場所、食べたい物など希望を聞いて、なるべく希望にそえるよう楽しい計画を立てています。

レクリエーション



普段作業を頑張っている皆さん! 月に2回のレクリエーションで、気分転換だあ~



ソフトボールの練習。練習に参加できない方は、シャボン玉を使って、癒しタイム。

# 特別養護老人ホーム

# 九十九荘 納涼祭

## 納涼会を終えて

七月二十八日、近年類を見ない猛暑が続く中、今年も納涼祭の季節がやってまいりました。会場では朝からエアコンをつけ、準備万端の体制で利用者、ご家族の皆様を迎える準備を整えておりました。さて、内容を振り返るにあたりちよつとしたトラブルが・・・

毎年「職員有志による余興」から始まり、踊りを披露していましたが、残念ながら当日機材の調子が悪く、お披露目することが出来ませんでした（前日までは問題なく動いていたのですが・・・）。また次の機会に発表出来たらと思います。しかしその後、「ダンス」を披露して下さり会場を盛り上げて下さいました。途中休憩と食事をはさみ、皆様には移動していただき外食になりました。外では音楽が止まることなくいるいなイベントが開催されました。「ラムネ早飲み」「わんこそば早食い」では子供たちもたくさん参加してくれ利用者も子供たちの楽しそうな笑顔に目を細かしていました。また模擬店にも魅力的な食べ物ばかりで、焼きそばやかきそば、お好み等を利用者が職員、ご家族と美味しそうに召かかっています。本風船もただの風船ではなく色とりどりのキラキラとした風船で、それを手にした利用者も「これいいね」と笑顔で中には「楽しかったです」。

とうとう外も涼しくなってきた、皆様お待ちかねの「花火」の時間です。職員が準備した花火を披露し、二つ同時に打ち上がる花火を見ることができました。歌声が上がりました。利用者の皆様も「いいね」とキラキラとした笑顔で聞いていました。花火を採んでもらえた様です。

今年も無事に納涼会を終えることが出来ました。ボランティアの皆様や御家族の方々の協力に感謝申し上げます。今後の納涼祭はさらなることをしようかと、今から楽しみにしています。

介護職員 小澤 良枝



今回の九十九荘のページでは納涼祭を特集したいと思います。皆さんの思い出のひとつを「夏下さ」。

# ALOHIA 夏の思い出



毎年恒例の納涼祭。今年は「いつ楽しむの？今でしょ！」をテーマに、利用者の皆さん、職員、御家族、地域の皆さんが参加して楽しんで頂けるようなゲームを企画してみました。思わず笑ってしまう場面が沢山あり、いい笑顔が見られました。美味しい物を食べ、和気あいあいとした交流の機会が、これからも続くと良いです。

介護職員 小澤 良枝





水遊び

みんなお水が大好き

プールって気持ちいいな♪



イエーイ プール大好き

プール

大きいプールは楽しいな♪



夏祭り

# 夏のあおぞら ～2013～

今年の夏もたくさんの行事や出来事がありました。  
子ども達は、夏ならではの遊びを楽しみながら  
暑さにも負けず元気に過ごしていました。



すいか割り

がんばれ～

たくさんスイカがとれたよ



シャボン玉上手にできるかな？



スイカにあてるぞ～！！



あたるかな～



えいっ



# 十倉厚生園 デイとくら・輝 祝15周年

## 15周年を振り返り、 新たな未来へ!!



忘れもしない平成十六年十月一日、私たち一人は十倉厚生園の園庭で結婚式を行わせて頂きました。当時の三木園長、水野課長、片山課長を初め、たくさんの方のお力を借りてとても素晴らしい思い出に残る結婚式になりました。準備が大変で多くの方々に多大な負担をかけてしまい、十年近く経つときでも感謝でいっぱいです。恩返し的心情を込めて一生懸命業務にあたりたいと思います。そして美人で優しい奥様と可愛い子供たちを大切にしていきたいと思えます。

持ち込め、一生懸命業務にあたりたいと思えます。そして美人で優しい奥様と可愛い子供たちを大切にしていきたいと思えます。

支援主任 加藤 崇



十倉の園庭は、この数年で栄養士、調理員も変わり、喫食数も急増。二〇〇食を超え、刻み食、カロリー制限も多くなりました。献立は手作りが多くなり、多国籍料理、郷土料理等、種類も豊富になり、利用者からは「美味しい、辛い。」の声があります。利用者の方よりも職員の方の好き嫌いが多い様な気がしますが、バランスの良い食事を提供していきたいです。

調理員 金澤 昌紀子



みんなの楽しい時間



33から歴史は始まった



昔かしの頃

地域の中でふつうの生活を送りたい...という想いに応えるべく、ほっとハウスがスタートして十年。利用される方はどう暮らしていきたいのか、ご家族がどうすれば安心出来るかという事に改めて向き合い、更に細やかな支援を心掛けたいと思えます。

GHサービス管理責任者 菅生 和佳子



三歩ハウス 地域生活を実現する夢の家

十倉厚生園に異動をして3年。以前いた日吉厚生園とは全く違う。通所と居住の違いがあるのと十倉厚生園は規模が大きい。異動が無ければ気付かなかった事だと思ふ。それぞれの施設の職員に「ここだけは他に負けない。もっと利用者の方に...」といった強い思いがある。目指す方向で各施設の特徴が生まれる。異動をした職員は各施設の強い部分と物足りない部分に気づき、新しい風を吹き込む事が出来る。今年十五周年を迎える十倉厚生園に時には優しく、時には台風並みの強い風を起し、十倉厚生園を支える力になりたい。

通所主任 椎名 いづみ



現在も変わらぬ、家族の支え



私は1年間だけですが、障害児施設で働いていました。現在は社会人3年目、十倉では2年目の若手です。そんな私が十倉厚生園に勤めた当初は「利用者さんは自由な生活を送っているな」と思いました。成人の施設となると利用者さんもルールを守って過ごしているのだと思えました。勤めて数カ月すると、職員の方々が日々、安全管理に力を入れ利用者さんを守っているからこそ、自由な生活を送れているのだと感じました。私も十倉の一員であり、一職員として頑張っていきたいと思えます。

支援員 今井 一樹

平成十一年度には「十倉厚生園デイサービスセンター」としてスタートして以来、国の施策の変化に振りまわされながらも、文化的活動、機能訓練等、生活全般にわたる援助を行ってまいりました。開所当時のデイサービスの利用者数はわずか数名でしたが、平成二十四年度より多機能型事業所「デイとくら・輝」として事業展開している現在、二十七名の方が利用されています。地域の利用者さんに信頼と安心をさらに得られるよう職員六名が頑張っています。

デイとくら・輝主任 横尾 直弘



地域密着を目指しています

十倉厚生園開所以来十四年間、利用者の皆さんの支援を第一に考えながら職員を引っ張ってきた前水野支援課長(現協和厚生園園長)に代わり、四月から勤務させて頂いておりますが、改めて十倉厚生園での入所・通所・在宅支援他、多岐にわたるニーズをいかに限られた職員で今まで支援にあたってきたか、その責務の重さを実感しながらの四ヶ月でした。

それでも日々、皆さんが楽しみにされる行事のことや、利用者の方々の生活の一片の出来事が、他部所勤務で全く無知な自分ではありましたが、個性を大事にしながらいかに支えにたつてきた支援課各主任始め、支援課職員の皆さんに改めて教えて頂いた気がします。そして利用者の皆さん、ご家族の方々にも、時に優しく教えて頂き、時に大目に見て頂きながら、少しずつ成長させて頂いてい

るのかな、と自分の不甲斐なきに申し訳なく思う以上に、日々感謝の毎日です。まだまだ未熟者ではありますが、十倉厚生園のこれからの見つけめと進んでいけるよう、日々、精進していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

支援課長代理 細野 亮子



現在の十倉厚生園、デイとくら・輝を支えるメンバー



現在の十倉厚生園、デイとくら・輝を支えるメンバー

十五年を振り返り  
十倉厚生園の十五年の節目に、思い返せば楽しい事や辛い事など沢山有り過ぎて、このスペースでは書ききれませんが、積み重ねてきた中で最も想いの中に残っている事を一つ。

平成十一年四月に開所したその年に、地元の日吉小学校との交流を始める事が出来た。園のさつまいも畑での芋掘り会、そして運動会への招待...。その後、レクリエーション交流や体験学習など内容も無理のない範囲で充実させ継続してきた平成二十一年の春、開所当時、小学三年生の子が成人となり職員になったこと。撒いた種が実をつけたと実感した嬉しい出来事となった。

十五年の月日の積み重ねは決して軽いものではないが、十五年は一つの通過点である。これから安心して利用できる施設支援に終わりは無い。

十倉厚生園園長 三木 康雄

### 6月

6月は野外で流しそうめんを行いました。流しそうめんセットは日吉職員が竹を調達し、手作りで行いました。調理もちろん手作りです。流しそうめん用のきゅうりや、かき揚げ用の玉ねぎなど、太かったり細かったり...でもそれが手作りの醍醐味！急速スイカも登場し、美味しく頂きました。午後は皆さんの大好きなカラオケ大会。非常に盛り上がりました。



### 8月

8月は千葉県にある「社会福祉法人あしたば中野学園」様のプールをお借りして、プール外出を行いました。最初は曇っていた天気も、プールに入る頃には晴れ間が見えて絶好のプール日和となりました。泳ぎを楽しむ人、水際で足を入れて涼む人、水鉄砲で水をかける人(笑)など、それぞれ満喫した様子でした。昼食は野外でのお弁当。外で食べる食事は格別でした。



## 思いっきり余暇を楽しもう!

日吉厚生園では月に1回、レクリエーションの日を設定していますが、作業活動の合い間に行う為、活動できる時間が2時間程度というのが現状です。その時間の制約の中でも、職員が創意工夫をして色々な活動に取り組んでいるのですが、今年度より通常の活動内では時間の制限があり取り組むのが難しい余暇的な内容を、1日かけて行ってみようという事で、土曜日の開園日を利用した「余暇支援日」を設けました。

そこでは季節に合わせた内容を決めて、少し遠い場所へ外出したり、短時間では難しい調理活動を楽しんだり、1日かけて楽しめる内容を提供しています。そこで今回は春から夏にかけて行われた余暇をご紹介します。

### 5月

5月は初の余暇支援日でしたが、残念ながら雨模様。予定していた蓮沼海浜公園を急速変更し、市川市にある『現代産業科学館』に変更となりました。しかし楽しみながら実験を行えるコーナーや体験コーナーなど、皆さん興味深々で楽しんでいました。



毎回「今度の余暇は何をやるの?」と、目を輝かせた利用者の皆さんからの質問を受ける度に、嬉しさややりがいを感じます。今後も皆さんが楽しめる内容を提供していきたいと思ひます。

# ワークわく初！一泊旅行

五月二十五日に開催されました、ワークわくまつりにおきまして準備等に関わっていただいた皆様には多大なご助力を賜り、無事終了できた事を心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、参加していただいた皆様方は御存知の事と思われませんが、ワークわく・きよさと初主催の行事では、多くの方々に御来場いただきまして、大盛況の後終了する事ができました。

同法人施設十倉厚生園からは行事の「徒歩き会」のゴール地点としてワークを指定していただき、頑張って歩いていただいた利用者さんの憩いの場として御活用いただきました。 「フードまつり」と銘打ただけあり、多くの料理が並び「遊ぶのが大変」である友人より一言ありました。嬉しい悲鳴とはまさにこの事であると大変嬉しく思います。

利用者さんも日々の仕事の疲れを楽させて吹き飛ばす事ができた様子で、笑顔が沢山見られる事ができ良き一日となりました。

大道芸人のオキ様にも大変会場を盛り上げていただきました。丸い筒の上に板を載せ、その上に乗ってバランスを保つという大技等を見せていただき、とてもすごい技の鼓々に会場は大盛り上がりでした。技のみならず巧みを芸術でも人柄の良さ、面白さを際立たせるものとして目を見張りました。

そしてワークわく・きよさととはエコ活動にも力を入れています。室外作業班の利用者の方々は作業として協力店舗店舗より段ボール回収を行い、それを業者に売るといいう形にて工賃を得ています。その回収した段ボールを十倉厚生園等の団体様向けに食品を運ぶトレーとして御活用いただきました。

「持ち運び易い」等なかなかの好評にて嬉しく思います。そして使用した段ボールは後程解体し業者へ売り、利用者さんの工賃として支払われました。まさにエコです。御活用ありがとうございました。



二日目の朝。皆さんさすがワークわくの利用者さんです。素早く起床し朝食・用意を済ませ指定の時間に玄関へ。この日に回る主な箇所は東武ワールドスクエアに中禅寺湖遊覧船です。さてどんな所なのか楽しみにしながら、まずは東武ワールドスクエアへ。ミニチュアな世界が広がっており神秘的で建造物が好きを方にはたまらないかと。もちろん社会科見学の一環として考えると、とても良い所であったと思います。中禅寺湖遊覧船では素晴らしい景色と肌寒さを感じながら揺れる湖面を皆さんで観察！中禅寺湖は日本有数の鱒の産地でもあり、魚が沢山見られる事ができました。また会話も弾んだ為始終笑顔が絶えない状況に嬉しく思いました。個人的には寒さで元気を吸い取られました。利用者さんの表情を見る事ができ、居住施設とは違い利用者さんの一日の表情を見る事ができるのが、夜間の表情を見る事ができ、より深く信頼関係を築けたかと思えます。この様な行事等をきっかけに利用者さんの皆さんが感受性のより豊かな方に成長していただけるようサポートし、より一層信頼関係を築いていきたいと感じました。



七月の十八日・十九日にはワークわく・きよさと初の一泊旅行に行ってきました。鬼怒川温泉・常陸出雲大社・コカコーラ工場見学等豪華な旅の予定に利用者さん職員も期待で胸が高鳴りました。

まず一日目の主な箇所としては**コカコーラ工場見学**と、**常陸出雲大社**でした。一見豪華な工場内にも様々な工夫が施されており、職員・利用者さんも目を見張りました。ワークわくでも見習うべきリサイクル精神を感じこれから利用者さんが経験するであろう就職に向けて吸収していただけたらと感じました。

常陸出雲大社では大きな社に絶景の眺めを満喫でき皆さんご満悦の表情で、私も嬉しく思いました。

七月の十八日・十九日にはワークわく・きよさと初の一泊旅行に行ってきました。鬼怒川温泉・常陸出雲大社・コカコーラ工場見学等豪華な旅の予定に利用者さん職員も期待で胸が高鳴りました。



# ワークわく・きよさと

## ワークわくまつり開催

文◎黒澤 建太



五月二十五日に開催されました、ワークわくまつりにおきまして準備等に関わっていただいた皆様には多大なご助力を賜り、無事終了できた事を心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、参加していただいた皆様方は御存知の事と思われませんが、ワークわく・きよさと初主催の行事では、多くの方々に御来場いただきまして、大盛況の後終了する事ができました。

同法人施設十倉厚生園からは行事の「徒歩き会」のゴール地点としてワークを指定していただき、頑張って歩いていただいた利用者さんの憩いの場として御活用いただきました。 「フードまつり」と銘打ただけあり、多くの料理が並び「遊ぶのが大変」である友人より一言ありました。嬉しい悲鳴とはまさにこの事であると大変嬉しく思います。

利用者さんも日々の仕事の疲れを楽させて吹き飛ばす事ができた様子で、笑顔が沢山見られる事ができ良き一日となりました。

大道芸人のオキ様にも大変会場を盛り上げていただきました。丸い筒の上に板を載せ、その上に乗ってバランスを保つという大技等を見せていただき、とてもすごい技の鼓々に会場は大盛り上がりでした。技のみならず巧みを芸術でも人柄の良さ、面白さを際立たせるものとして目を見張りました。

そしてワークわく・きよさととはエコ活動にも力を入れています。室外作業班の利用者の方々は作業として協力店舗店舗より段ボール回収を行い、それを業者に売るといいう形にて工賃を得ています。その回収した段ボールを十倉厚生園等の団体様向けに食品を運ぶトレーとして御活用いただきました。

「持ち運び易い」等なかなかの好評にて嬉しく思います。そして使用した段ボールは後程解体し業者へ売り、利用者さんの工賃として支払われました。まさにエコです。御活用ありがとうございました。

### 一般企業へ就職したワークわくの利用者さんから一言

ワークわく・きよさとで学んだ中で何が一番身に付いて役に立ちましたか？

- ・ウォーキング等で体力づくりを行ったことが、今になって通勤時や仕事の時に役立っています。体力はつけておいたほうが良いと思います。
- ・ワークでの箱折りの作業では細やかな手先を身につけ、それが今の就職先で細かい作業をやるにあたって役立っています。
- ・何か一言
- ・夏は暑いですがとも皆さんお体に気をつけて頑張ってください。ワークで学んだ事をこれからの就職に生かして頑張ってください。

